

第58回 講演会 『常陸南北朝史研究の新視点

…北畠親房小田入城の背景…



小田城を拠点に鎌倉時代から戦国時代末まで常陸南部の一大勢力であった名家小田氏。

小田氏関連の歴史について、「忍性」、「氏治」に続いて、今回は第7代治久の時代の常陸南北朝史を取り上げました。

治久は常陸の南朝方の中心として、後醍醐天皇の側近である北畠親房を小田城に迎えたとされる。親房は、小田城で神皇正統記を著し、3年後に関城へ移った。

土浦市立博物館長の糸賀茂男氏に、研究の新視点から、親房が何故小田城に入ったかなど常陸の南北朝史をお話しして頂きます。

日時・会場等

2020年1月19日(日)

開場 12時50分

講演 13時30分～15時30分

つくば市役所コミュニティ棟1階「会議室1・2・3」

(つくば市役所本館の北側の3階建ビル内)

つくば市研究学園 1-1-1

*市役所の駐車場を利用出来ます。

【参加費】200円(資料代等)

【定員】先着120名 事前申込必要

【申込・お問合せ】出来るだけE-mailでお願いします。

(会場がつくば市施設の為、申込時に、住所(つくば市内外)と年齢をお教え下さい。)

・E-mail fsatoshi@mail1.accsnet.ne.jp (藤原) ・電話 090-5502-6322 (藤原)
kz-yagai@mail1.accsnet.ne.jp (谷貝) 090-9144-5681 (谷貝)

講師

いとが しげお

糸賀 茂男 氏

つくば市(旧筑波町)に生まれ、慶應義塾大学卒、慶応義塾大学大学院博士課程修了。

常磐大学教授を経て、同大学名誉教授、博士(史学)。

現在は、土浦市立博物館館長、茨城県文化財保護審議会会長、真壁城跡整備検討委員会会長など幅広く活躍されています。専門は日本中世史。

筑波町、真壁町、荃崎町等の自治体史編集や「図説茨城県の歴史(共著)」、「茨城県の歴史(共著)」、「常陸中世武士団の史的考察」、「常陸出身 儒者 根本雄介書簡集(共編)」などの著書多数。

楽楽大学 令和元年度『TSUKUBAを楽しもう』プロジェクトのこれまでと、これから
第55回 7月27日(土) 「〈東京ブギウギ〉ブギウギのリズムから・・・」 根木マリサ氏
第56回 9月8日(日) 「ケイ素抗がん剤特許説明講座」 増田博美氏
第57回 11月24日(日) 「人生二山の先達 伊能忠敬」 星埜由尚氏
第59回以降のテーマ案としては ・プラスチックゴミの処分対応
・社会貢献企業トップのお話し等です・・・